

かくだ

市議会だより

第163号

平成23年11月1日

Kakuda city



▲肥育牛出荷停止を受けての酪農・肥育牛生産者との「一般会議」のようす
(平成23年8月4日 角田市役所にて)

■ おもな内容 ■

第358回臨時会 2～3

- ◇新しい議会の構成..... 2
- ◇常任委員会等の構成..... 3

第357回定例会 4～10

- ◇本会議の概要..... 4～5
- ◇審議結果一覧..... 5
- ◇一般質問..... 6～9
- ◇陳情の処理..... 10
- ◇意見書の提出..... 10

- ◇要望書の提出..... 10
- ◇決議の提出..... 10
- ◇決算審査特別委員会..... 10
- ◆初めての一般会議..... 10
- ◆平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会..... 10
- ◆第5回議会報告会..... 11
- ◆12月定例会日程(予定)..... 12
- ◆議会日誌..... 12
- ◆編集後記..... 12

新しい議会の構成が 決まりました

改選後初の第358回臨時会が、10月4日に招集され、一日の会期で開かれました。

この臨時会では、議長・副議長の選挙、常任委員及び議会運営委員の選任、ごみ処理等対策調査特別委員会など3つの特別委員会の設置、一部事務組合議員及び広域連合議会議員の選挙を行い、市議会の構成を決定したほか、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。選挙結果は下記のとおりです。また、委員会の閉会中の継続調査事



議長
佐藤 正友

副議長
高橋 力雄

件を決定、次の定例会招集までの間に起こった事態に対応できることとしました。(閉会中の委員会活動しうる状態) 続いて、市長から人事案件が提出され、監査委員の選任についての2議案に同意し、閉会しました。

就任のごあいさつ

このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。本市を取り巻く状況は、一層その厳しさを増し、多くの行政課題を解決するため、より一層の行政改革が求められています。

市議会といたしましても、山積する行政課題に積極的に取り組み、市民の皆様のご意見やご要望が反映される議会としての本来の役割を果たすべく決意を新たにいたしております。真の地方自治の進展と市民の福祉向上のため、開かれた議会運営に努め、市民皆様の期待と信頼に応えるよう誠心誠意努力をいたす所存でございますので、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

【選挙】

- ▼仙南地域広域行政事務組合議会議員
谷津 睦 夫 議員
- ▼大河原町外1市2町保健医療組合議会議員
齋藤 正一郎 議員
馬場 道晴 議員

- ▼宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員
相澤 邦戸 議員

- ▼角田市選挙管理委員及び同補充員
選挙管理委員
我妻 一良 氏
佐藤 啓 氏
遠藤 裕一 氏
伊藤 稔 氏

- ▼選挙管理委員補充員
佐藤 健造 氏(第1順位)
目黒 孝男 氏(第2順位)
毛利 正子 氏(第3順位)
曳地 宣夫 氏(第4順位)

【3つの特別委員会を設置】

常任委員会では対応が困難な事件について調査するため、議員全員で構成する次の3つの特別委員会を設置しました。

▼ごみ処理等対策調査特別委員会

- 委員長 渡邊 誠
- 副委員長 谷津 睦 夫
- (閉会中の継続調査事件)
ごみ処理施設に関する事項について

市長提出 人事案件

- ▼識見を有する者のうちから選任する監査委員の選任について
角田字幸町24番地1
喜多 正行 氏(再任)

- ▼議員のうちから選任する監査委員の選任について
角田字牛館12番地
柄目 孝治 議員(再任)

- ・ごみ収集、運搬に関する事項について
- ・ごみ減量化対策に関する事項について
- ・ごみのリサイクルに関する事項について
- ・生ごみの堆肥化に関する事項について
- ・ごみの分別に関する事項について
- ・ごみの有料化に関する事項について
- ▼学校耐震対策及び再編計画に関する調査特別委員会
委員長 細川 健也
副委員長 今野 林一郎
(閉会中の継続調査事件)
・学校耐震対策に関する事項について
・学校再編に関する事項について

- ▼平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会
委員長 本田 敏昭
副委員長 馬場 道晴
(閉会中の継続調査事件)
・平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策に関する事項について

常任委員会の構成

総務財政常任委員会

総務部、会計課、議会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管事項について、調査や審査を行います。

- (写真右から)
- ◎細川 健也 (クラブみんしん)
 - 伊藤 善昭 (無党派)
 - 湯村 勇 (市民クラブ)
 - 佐藤 正友 (無党派)
 - 日下七郎 (日本共産党角田市議団)
 - 柄目 孝治 (クラブみんしん)



教育厚生常任委員会

市民福祉部、教育委員会の所管事項について、調査や審査を行います。

- (写真右から)
- ◎相澤 邦戸 (クラブみんしん)
 - 馬場 道晴 (無党派)
 - 八島 定雄 (日本共産党角田市議団)
 - 齋藤 正一郎 (政友会)
 - 高橋 力雄 (無党派)
 - 本田 敏昭 (市民クラブ)



産業建設常任委員会

産業建設部、農業委員会、水道事業所の所管事項について、調査や審査を行います。

- (写真右から)
- ◎谷津 睦夫 (クラブみんしん)
 - 今野 林一郎 (クラブみんしん)
 - 小湊 毅 (無党派)
 - 渡邊 誠 (政友会)
 - 小島 正 (市民クラブ)
 - 玉手 安博 (無党派)



議会改革検討会議

議会改革、議会活性化等に関する事項について協議を行います。

- ◎委員長 凡例
- 副委員長
- ☆会長 也戸 毅郎 正郎
- ☆副会長 健 邦 正 七
- 氏名 川澤 湊 藤 島 下
- () 党派名

議会運営委員会

議会の運営や会議規則・委員会条例などについて、調査や審査を行います。

- ◎渡邊 道林 一郎 雄 勇 夫
- 馬場 野 島 村 津 睦

平成22年度の決算を 認定しました

第357回定例会は8月4日に招集され、市長から17件、議員提出議案が5件、あわせて22件の議案が提案されました。そのうち、決算議案については決算審査特別委員会に、条例に関する議案については所管の常任委員会に付託しました。上程された議案を慎重に審議し、22日間の会期を経て8月25日に閉会しました。

本会議

◎第1日（8月4日）

会期を22日間と決定した後、教育委員会委員の人事案件について審議し、採決の結果、原案のとおり可決しました。次に、市長から今回提出された議案について提案理由の説明があり、その後、会計管理者による22年度決算の説明と喜多正行監査委員による決算審査報告がありました。

◎第2日（8月10日）

市の財政状況判断の目安となる22年度健全化判断比率及び資金不足比率が報告されました。

その後、上程された議案に対し、高橋力雄議員、日下七郎議員の順に2名が質疑を行

いました。

また、条例の制定及び一部改正に関する3議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託され、22年度各種会計決算認定の議案については、決算審査特別委員会（湯村勇委員長、齋藤正一郎副委員長）を設けて審査を付託しました。

◎第3日（8月22日）

馬場道晴議員外4名の議員が、放射能問題や市政全般について一般質問を行いました。

◎第4日（8月23日）

前日に引き続き、3名の議員が一般質問を行いました。

◎第5日（8月24日）

市長から提出された補正予

算等7件の議案について審議し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

◎第6日（8月25日）

常任委員会へ付託した条例議案について、星守夫教育厚生常任委員長と細川健也総務財政委員長からそれぞれ審査の経過及び結果が報告されました。この3議案については、日下七郎議員が反対討論を、佐藤正友議員が賛成討論を行い、表決の結果、賛成多数で可決しました。

また、決算審査特別委員会に付託した決算議案の審査結果について湯村委員長より報告があり、審議の結果、いずれも賛成多数で認定しました。引き続き、市長から追加提出された3議案について提案理

由の説明があり、審議、採決の結果、原案のとおり可決しました。

さらに、議案案として角田市議会委員会条例の一部改正に関する議案をはじめ、意見書提出等の3件についても原案のとおり可決しました。なお、角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正に関する議員提案議案については、反対多数で否決となりました。

審議された議案の審議結果そのほかの審議結果は、3ページ表1のとおりで、審議された議案の主なものは次のとおりです。

人事案件（任命）

▼教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員について任命するもの。任期は平成23年10月1日から27年9月30日まで。
大河原町字中島町2番地21 菊地俊彦氏（再任）

主な補正予算の概要

▼一般会計（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ7511万1千円を追加補正す

るとともに、平成23年度農業災害対策資金利子補給の債務負担行為を追加補正するものです。

歳入の主なものは、普通交付税と国・県補助金の追加で、歳出の主なものは、次の事業です。

- 地上デジタルに対応した共同受信施設整備費（藤尾6区及び西根3区）
- 新行政情報システムデータ移行業務委託料
- 震災による諏訪神社及び石川家御廟所の市指定文化財補修費

▼一般会計（第5号）

歳入歳出予算にそれぞれ8億5,184万円を追加補正するとともに、平成23年度原発事故農畜産物被害対策つなぎ資金利子補給の債務負担行為を追加補正するものです。

- 歳入の主なものは、国・県補助金と市債の追加で、歳出の主なものは、次の事業です。
- 食品等の放射線量測定器購入費
- 庁舎エレベーター設置費
- 震災による公園、道路及び橋りょう等の公共施設復旧費

条例の制定及び一部改正

▼角田市障害者就労支援施設条例

障害者自立支援法の施行に伴い、既存の精神障害者授産施設の見直しが必要になったことから、福祉サービスの新体系である就労継続支援サービスが受けられる施設に移行するものです。現行の角田市精神障害者通所授産施設条例を全部改正し、角田市障害者就労支援施設条例を新たに制定しました。

▼角田市市税条例

《個人市民税の寄附金税額控除の拡大》
寄附金税額控除の適用上限額が、5千円から2千円に引き下げられました。
これは、東日本大震災をふまえ、ふるさと納税制度を促進し、被災者支援に活かすものです。

《罰則の見直し》

市民税、固定資産税、軽自動車税等について、不申告の場合の過料の額が、3万円以下から10万円以下に引き上げられました。また、たばこ税に係る不申告に関する規定が新設されました。

表1

第357回定例会 審議結果一覧

議員数は19名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は18名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産 党議員団	無会派
市長提出議案							
人事案件							
角田市表彰条例による表彰者について	8月4日	可決	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について(再任 菊地俊彦氏)	8月4日	同意	○	○	○	○	○
条例							
角田市障害者就労支援施設条例の制定について 角田市長期総合計画審議会条例の一部改正について 角田市市税条例等の一部改正について	8月25日	可決 (賛成16 反対2)	○	○	○	×	○
平成23年度補正予算							
角田市一般会計補正予算(第4号) 角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 角田市介護保険特別会計補正予算(第2号) 角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 角田中学校校舎耐震補強等(建築)工事請負契約の締結について	8月24日	可決	○	○	○	○	○
角田市一般会計補正予算(第5号) 角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	8月25日	可決	○	○	○	○	○
決算							
平成22年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について 平成22年度角田市水道事業会計決算の認定について	8月25日	認定 (賛成16 反対2)	○	○	○	×	○
議員提出議案							
条例							
角田市議会委員会条例の一部改正について	8月25日	可決	○	○	○	○	○
角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	8月25日	否決 (賛成2 反対16)	×	×	×	○	×
意見書							
○福島第一原子力発電所事故による畜産農家等に対する緊急支援に関する意見書の提出について ○東日本大震災の迅速な被災者支援と復旧・復興を求める意見書の提出について	8月25日	可決	○	○	○	○	○
決議							
福島第一原子力発電所事故に伴う農畜産物被害への対応を求める要望に関する決議について	8月25日	可決	○	○	○	○	○

《各会派の構成メンバー》

- クラブみんしん (高橋力雄、永沼正一、今野林一郎、谷津睦夫、相澤邦戸、柄目孝治)
- 政友会 (佐藤正友、星守夫、渡邊誠、齋藤正一郎)
- 市民クラブ (本田敏昭、小島正、湯村勇、細川健也)
- 日本共産党議員団 (日下七郎、八島定雄)
- 無会派 (会派に属さない議員) 馬場道晴、玉手安博議長、伊藤善昭副議長



福島第一原発事故による放射能対策について

馬場道晴 議員

議員▼宮城県南地方から対応という健康調査の実施について、本市においても早急に実施していただきたい。

市長▼健康調査を実施すべきと考えています。7月25日に村井県知事が野原発事故収束及び再発防止担当大臣などに提出した要望書のとおりで、

一つ目は、福島県と同様に、全県民を対象としたホルボディカウンター等による検査や18歳以下に対する甲状腺検査などの健康調査を実施すること。二つ目に、県民の健康確保のために必要な事業等を中長期的に実施するための健康基金を創設することです。実施に向け県に強く働きかけを行うとともに、隣接市町とも連携して取り組んでいきたいと考えています。

議員▼宮城県の副知事が、角田のイメージを科学技術と歴史のまちとおっしゃっていました。その歴史とは高蔵寺を意味し、科学技術とは宇宙センターのことを意味します。コスモハウスについては、実験まで含めた科学の勉強を総合的にしていく施設になれば尚さらよいと

ムは活用しませんでした。が、活用しなくても対応できたと考えています。今後の災害弱者の避難支援ですが、今年度中に災害時要援護者名簿を作成する計画です。その際、被災者支援システムと有機的に組み合わせ、災害時の要援護者支援システムを作成することができれば最善ですので、民生委員・児童委員、行政区長などと協議、さらに、先進事例も参考にしながら活用することを前提に今後いろいろ検討します。

議員▼放射能を簡便に測定できる放射能測定機器を導入したいと考え、今定例会の最終日に追加で補正予算を提出する予定ですか。

市長▼放射能を簡便に測定できる放射能測定機器を導入したいと考え、今定例会の最終日に追加で補正予算を提出する予定ですか。



▲NaIシンチレーション検出器での測定の様子

放射能汚染対策について

渡邊 誠 議員

議員▼放射能汚染により肉牛出荷停止が発令されており、緊急に資金繰りに対する支援が必要だと思いが考えを伺います。

市長▼みやぎ仙南農協が、原発事故農畜産物被害対策つなぎ資金の創設を決定しました。市としては、つなぎ資金に対する利子補給を行います。

議員▼水の放射能汚染の不安にどのように応えるつもりか伺います。

市長▼現在のところ、いずれの水道水からも放射性物質は不検出か、ほとんど検出されない状況であり、飲用に問題ないと認識しています。今後の関東地区への配水は、可能な範囲で広域水道水を配水します。枝野浄水場については、リスク分散の観点から必要な浄水を、つくり維持していきます。

議員▼学校、保育所、他の公共施設のリスク管理は、どのように行っているのか伺います。

市長▼幼稚園を含めた各学校においては、ふだんの生活の延長で屋外活動後のうがいや手洗いの励行など、学校と家庭が連携した取り組みを行っています。これらの施設については、新たに購入した簡易型の環境放射線測定器を使用し、より多くの場所での測定を行っています。施設内の放射能による影響を明らかにすることにより、数値の高い場所への立ち入りの禁止や制限対策を実施するなど、放射能からの影響をできるだけ少なくできるようにしていきます。また、比較的高いホットスポットの除染等について

議員▼放射能汚染被害に対する補償問題にどう対応するのか伺います。

市長▼東京電力(株)福島第一・第二原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定に関する中間指針が示されており、基本的にこれに基づいて対応したいと思っております。

議員▼放射能汚染被害に対する補償問題にどう対応するのか伺います。



成長期の子ども達を放射能汚染から守る対策について

八島定雄 議員

議員▼これまでどのような取組んでこられたのか

市長▼角田中央公園周辺の恵まれた運動施設を活用したスポーツ交流事業。また、高蔵寺、郷土資料館、台山公園、角田宇宙センターなど個性的な地域資源を活用した観光交流。さらに、菜の花まつりや梅まつり、ずんだまつりなどのイベント交流。

議員▼今後どのようなことが必要か。

市長▼第5次長期総合計画の中で交流人口100万人を目指しており、キラリと光る観光の振興、食の角田ブランド推進を中心とした物産の振興、まちなか再生プロジェクト事業による歴史と文化が香る交流拠点事業。さらに、県南隋一を誇る総合運動公園の中央公園周辺を賑わいの交流拠点として整備しながら、交流人口の拡大と地域経済や生活文化の活性化を目指します。

議員▼台山公園には山があり、水が流れ、池がある。木々がある。これを活用すべきではないか。

市長▼台山公園には山があり、水が流れ、池がある。木々がある。これを活用すべきではないか。

交流人口について

高橋力雄 議員



議員▼宮城県の副知事が、角田のイメージを科学技術と歴史のまちとおっしゃっていました。その歴史とは高蔵寺を意味し、科学技術とは宇宙センターのことを意味します。コスモハウスについては、実験まで含めた科学の勉強を総合的にしていく施設になれば尚さらよいと

市長▼宮城県の副知事が、角田のイメージを科学技術と歴史のまちとおっしゃっていました。その歴史とは高蔵寺を意味し、科学技術とは宇宙センターのことを意味します。コスモハウスについては、実験まで含めた科学の勉強を総合的にしていく施設になれば尚さらよいと

議員▼教育施設、保育所、公園等で空間線量を測定し市民に公表していますか。

市長▼小中学校や保育所、児童館などの施設での数値は減少しています。国の基準に従えば、避難あるいは除染の必要はないと考えますが、ホットスポットと言われる局所的に高い数値が出ているところもあるのが、詳細な調査と対策が必要だと考えます。

議員▼子ども達は学校だけでなく、通学路、ふだん遊ぶ空き地や公園、自宅周辺等で生活しています。よって、きめ細かに空間線量の測定をしなければならぬ。さらに多くの場所を選定し、測定・公表していく考えがありますか。

市長▼新たに購入した簡易型線量計数台を使用し、行政区公民館や公園など合計140地点で空間放射線量を測定し、放射線分布マップを作成し

議員▼子ども達は学校だけでなく、通学路、ふだん遊ぶ空き地や公園、自宅周辺等で生活しています。よって、きめ細かに空間線量の測定をしなければならぬ。さらに多くの場所を選定し、測定・公表していく考えがありますか。

議員▼子ども達は学校だけでなく、通学路、ふだん遊ぶ空き地や公園、自宅周辺等で生活しています。よって、きめ細かに空間線量の測定をしなければならぬ。さらに多くの場所を選定し、測定・公表していく考えがありますか。



隈東地区への仙南・仙塩広域水道水の供給について
齋藤正一郎 議員

議員▼七ヶ宿からのうまい水を隈東地域にも供給してほしいとの要望が多い。隈東地域の水道水供給の現状について伺う。
市長▼角田市と七ヶ宿の水を比較すると、成分的にはどちらもおいしい水になるが、夏場の角田の水は、おいしい水の要件である水温20度を超過している。夏場は特に水温を下げるように、七ヶ宿から冷たい水を増量しています。隈東地区への配水量は季節によって変動はあるが、平均日量で約1,500立方メートル程度。夏場には、広域水道からの冷たい水を最大1日500立方メートル配水し、水温を4度前後低く保っており、おいしい水に近いものになっています。

市長▼昭和46年に布設したもので、概算金額は約2億円弱と見積もっています。
議員▼角田橋の配水管はあと何年ぐらい使用できるのか。配水管の口径を大きくすることは可能なのか。
市長▼平成2年度に布設されたもので、耐用年数は約40年、災害などによる損壊等がなければ今後20年程度は使用可能です。角田橋の配水管は歩道橋の桁下に添架している。宮城県、国土交通省から占用許可を受け設置しているが、設計加重オーバー等、占用条件や県の考え方もあり、現在の150ミリ配水管よりも口径の大きいものは布設できません。

議員▼水道料金は同じなのだから隈西地域と同様に七ヶ宿の冷たくておいしい水を隈東にも供給するべきだという声に応えるためには、仙南広域水道
議員▼水道水の放射能測定結果について、「角田市水道水の放射能は、いづれも検出であることから安全性に問題はありません」。「隈東地区の水は、枝野浄水場の水とあわせ広域水道（南部山浄水場）の水も一部送水されています」とのことですが、一部送水とは、枝野浄水場からの給水量の
議員▼水道水の放射能測定結果について、今後、全量送水を行うことについて伺います。
市長▼隈東地区への配水量は、平均日量で約1,500立方メートル、夏場は最大で日量約1,800立方メートルです。そのうち、仙南仙塩広域水道の水は夏場で約30%、冬場で約10%程度です。枝野浄水場の水は、現在、飲料水として問題がなく、震災の教訓から危険分散等の観点で稼働していることが重要だと考えています。今後は、東根橋配水管を早急に復旧させ、角田橋配水管と2系統からの配水を行うことで、隈東地区における水道水の広域水道水の比率を高め、あわせて自己水源として枝野浄水場も維持していくと考えています。

議員▼安全なのは承知していますが、おいしい水には基準があり、水質検査の快速水質項目で水温の問題です。広域水道の割合を多くし水温を下げるべきです。
市長▼そのとおりだと思います。夏場はどうしても水温が上がり、20度を超すような状況で、おいしい水とは言えないので、水温を下げるため七ヶ宿の水を多く入れています。今後目下議員
からの供給割合を高めるしかない。大震災からの教訓であるリスク分散のためにも、枝野浄水場を温存しつつ隈東地域の市民の要望に応えるためには東根橋と角田橋の配水管が絶対に必要である。
早急に供給されるように要望したい。
市長▼東根橋の配水管を平成24年度末までに布設替えして、角田橋と東根橋の2系統から広域水道の水を配水し、その割合を高めていく計画を持っています。
大震災の教訓であるリスク分散のため、今後とも必要に応じた稼働、維持管理を行うことが必要なので、枝野浄水場の水とあわせて、可能な限り広域水道からの水を増量し供給していくことにならざるを得ないので、御理解をいただきたい。

議員▼保育や教育環境のモニタリング地点を増やし結果を公表すると共に、その対策について伺います。
市長▼新しく購入した簡易型放射線測定器で測定し、数値の高い所は立ち入り禁止や低減対策を実施します。
議員▼どのようにして低減していくのか伺います。
市長▼基本的には国の基準、方針に従うことになり、角田市独自でも、できるだけ除染したいと考えています。しかし、除染により発生した汚泥などの処分方法が明確に示されていないので、積極的に進める段階に至っていません。
議員▼市民の不安は非常に大きい。県南地域の市町と連携して汚染対策をしていく考えはありますか。
市長▼県南各自治体の考えはそれぞれなので、連携して行うことは難しいと考えています。
議員▼除染の方法はどのように考えていますか。
市長▼線量の高い所の土を削る、建物を洗浄するなど試験的に実施していきたいと考えています。
議員▼購入した測定器をどのように活用して測定していくのか、また市民が持って行く生活物品も測定してほしいがいかがでしょうか。
市長▼購入した一台と甲南大学から貸与されている測定器の二台で一日40件位測れます。市民の方が持つて来る物をどのようにサンプル選定して検査していくか、詰めていきたいと思っています。

議員▼私は最近、懸念することがあります。それは、市幹部職員の定年を前にした早期退職です。灰闘すると、近々退職する人や来年の3月31日までに幹部が数人退職するということがあります。そして、来年度以降も何人かの職員が「退職したい」と口にしてると聞いていますが、せっかく立派に育てた職員に途中で退職されては市のマイナスではないでしょうか。
ある幹部職員は、「仕事に身が入らない。疲れが来た。」と言っています。確かに市の仕事は、最近、複雑かつ高度化、そして、多忙さが重なる厳しい難しい仕事に変わってきていることは確かです。しかし、退職する緊急な理由がないのに退職するということは、何か問題があるのかと心配するものですが、職員の指揮監督をされる市長はどのように考えているのか伺います。
議員▼最近の勤奨による退職者数は、平成19年度が6人、20年度4人、21年度5人、22年度3人、本年度、23年度は6人で、本年度が特に多いという人数ではないと思います。退職の理由は、主に本人の健康に関すること。また、家族の看護や介護のためなどの理由が多いようです。私も優秀な職員の中途退職は市のマイナスと考えていますので、退職勧奨を申し出た職員には、直接事情を聞いて慰留に努めてきたところですが。
なお、定員適正化計画でも、退職者の合計数と市全体の業務量を勘案し翌年度の採用予定者数に対応しており、労働過重などの状況にならないよう配慮しています。
議員▼8月1日の朝刊ですが、「自治体くたぐた、



福島第一原発事故に伴う
角田市における対策について
相澤邦戸 議員

議員▼現在、市直営の児童館についても今後指定管理者制度を導入していくと聞いているので、この評価は今後を左右する大変重要なものであると思う。制度選定委員と評価委員が同じではどうかと思うが、第三者を入れての評価が必要ではないでしょうか。
副市長▼今年から内部4人と市民の方3人で選定委員会を開催しています。
議員▼指定管理者制度になっている児童館の子どもの様子を市民にも見学させてほしいがどうか。
市長▼市民の方々に見ていただくことは支障ないと思うが、社会福祉協議会と相談します。

職員病気休暇増える「これは震災以降、このよう記事がだいぶ載っています。当市役所でも震災後に市民から直接的いろいろな状況の中で叱られたり、本当に大変な業務内容をこなされてきたと思います。このような状況でのストレス、自己嫌悪やうつ状態に陥る職員が増えているかと思いますが、その対応について伺います。
市長▼身体的な部分は少し休んでいただければ疲れがとれると思いますが、メンタル面はなかなか難しいです。そういったこともあり、職員の精神的なケアに対応するため、メンタルヘルスケア講習会を2回実施しています。一番大事なのはトップリーダーがしっかりと向かうべき方向を職員に示していくことだと考えています。



角田市職員の
早期退職について
湯村 勇 議員

湯村 勇 議員

議員▼水道水の放射能測定結果について、「角田市水道水の放射能は、いづれも検出であることから安全性に問題はありません」。「隈東地区の水は、枝野浄水場の水とあわせ広域水道（南部山浄水場）の水も一部送水されています」とのことですが、一部送水とは、枝野浄水場からの給水量の
議員▼水道水の放射能測定結果について、今後、全量送水を行うことについて伺います。
市長▼隈東地区への配水量は、平均日量で約1,500立方メートル、夏場は最大で日量約1,800立方メートルです。そのうち、仙南仙塩広域水道の水は夏場で約30%、冬場で約10%程度です。枝野浄水場の水は、現在、飲料水として問題がなく、震災の教訓から危険分散等の観点で稼働していることが重要だと考えています。今後は、東根橋配水管を早急に復旧させ、角田橋配水管と2系統からの配水を行うことで、隈東地区における水道水の広域水道水の比率を高め、あわせて自己水源として枝野浄水場も維持していくと考えています。

議員▼安全なのは承知していますが、おいしい水には基準があり、水質検査の快速水質項目で水温の問題です。広域水道の割合を多くし水温を下げるべきです。
市長▼そのとおりだと思います。夏場はどうしても水温が上がり、20度を超すような状況で、おいしい水とは言えないので、水温を下げるため七ヶ宿の水を多く入れています。今後目下議員
からの供給割合を高めるしかない。大震災からの教訓であるリスク分散のためにも、枝野浄水場を温存しつつ隈東地域の市民の要望に応えるためには東根橋と角田橋の配水管が絶対に必要である。
早急に供給されるように要望したい。
市長▼東根橋の配水管を平成24年度末までに布設替えして、角田橋と東根橋の2系統から広域水道の水を配水し、その割合を高めていく計画を持っています。
大震災の教訓であるリスク分散のため、今後とも必要に応じた稼働、維持管理を行うことが必要なので、枝野浄水場の水とあわせて、可能な限り広域水道からの水を増量し供給していくことにならざるを得ないので、御理解をいただきたい。



福島第一原発事故に関する
角田市のお知らせ(第16号)について
日下七郎 議員

議員▼水道水の放射能測定結果について、「角田市水道水の放射能は、いづれも検出であることから安全性に問題はありません」。「隈東地区の水は、枝野浄水場の水とあわせ広域水道（南部山浄水場）の水も一部送水されています」とのことですが、一部送水とは、枝野浄水場からの給水量の
議員▼水道水の放射能測定結果について、今後、全量送水を行うことについて伺います。
市長▼隈東地区への配水量は、平均日量で約1,500立方メートル、夏場は最大で日量約1,800立方メートルです。そのうち、仙南仙塩広域水道の水は夏場で約30%、冬場で約10%程度です。枝野浄水場の水は、現在、飲料水として問題がなく、震災の教訓から危険分散等の観点で稼働していることが重要だと考えています。今後は、東根橋配水管を早急に復旧させ、角田橋配水管と2系統からの配水を行うことで、隈東地区における水道水の広域水道水の比率を高め、あわせて自己水源として枝野浄水場も維持していくと考えています。

議員▼安全なのは承知していますが、おいしい水には基準があり、水質検査の快速水質項目で水温の問題です。広域水道の割合を多くし水温を下げるべきです。
市長▼そのとおりだと思います。夏場はどうしても水温が上がり、20度を超すような状況で、おいしい水とは言えないので、水温を下げるため七ヶ宿の水を多く入れています。今後目下議員
からの供給割合を高めるしかない。大震災からの教訓であるリスク分散のためにも、枝野浄水場を温存しつつ隈東地域の市民の要望に応えるためには東根橋と角田橋の配水管が絶対に必要である。
早急に供給されるように要望したい。
市長▼東根橋の配水管を平成24年度末までに布設替えして、角田橋と東根橋の2系統から広域水道の水を配水し、その割合を高めていく計画を持っています。
大震災の教訓であるリスク分散のため、今後とも必要に応じた稼働、維持管理を行うことが必要なので、枝野浄水場の水とあわせて、可能な限り広域水道からの水を増量し供給していくことにならざるを得ないので、御理解をいただきたい。

議員▼私は最近、懸念することがあります。それは、市幹部職員の定年を前にした早期退職です。灰闘すると、近々退職する人や来年の3月31日までに幹部が数人退職するということがあります。そして、来年度以降も何人かの職員が「退職したい」と口にしてると聞いていますが、せっかく立派に育てた職員に途中で退職されては市のマイナスではないでしょうか。
ある幹部職員は、「仕事に身が入らない。疲れが来た。」と言っています。確かに市の仕事は、最近、複雑かつ高度化、そして、多忙さが重なる厳しい難しい仕事に変わってきていることは確かです。しかし、退職する緊急な理由がないのに退職するということは、何か問題があるのかと心配するものですが、職員の指揮監督をされる市長はどのように考えているのか伺います。
議員▼最近の勤奨による退職者数は、平成19年度が6人、20年度4人、21年度5人、22年度3人、本年度、23年度は6人で、本年度が特に多いという人数ではないと思います。退職の理由は、主に本人の健康に関すること。また、家族の看護や介護のためなどの理由が多いようです。私も優秀な職員の中途退職は市のマイナスと考えていますので、退職勧奨を申し出た職員には、直接事情を聞いて慰留に努めてきたところですが。
なお、定員適正化計画でも、退職者の合計数と市全体の業務量を勘案し翌年度の採用予定者数に対応しており、労働過重などの状況にならないよう配慮しています。
議員▼8月1日の朝刊ですが、「自治体くたぐた、

議員▼市内三つの児童館等が本年4月より指定管理者制度導入となったが、現在の子どもの保育状況、保育士さんの勤務体制状況等市に報告されていると思いますがどのように評価しているのか伺います。
市長▼管理運営が円滑に行われるよう月1回は館長会議を開き、事業の検討、研修、情報交換、業務の調整を行っています。業務確認評価シートは10月に提出していただき、その後評価する計画です。
議員▼現在、市直営の児童館についても今後指定管理者制度を導入していくと聞いているので、この評価は今後を左右する大変重要なものであると思う。制度選定委員と評価委員が同じではどうかと思うが、第三者を入れての評価が必要ではないでしょうか。
副市長▼今年から内部4人と市民の方3人で選定委員会を開催しています。
議員▼指定管理者制度になっている児童館の子どもの様子を市民にも見学させてほしいがどうか。
市長▼市民の方々に見ていただくことは支障ないと思うが、社会福祉協議会と相談します。

職員病気休暇増える「これは震災以降、このよう記事がだいぶ載っています。当市役所でも震災後に市民から直接的いろいろな状況の中で叱られたり、本当に大変な業務内容をこなされてきたと思います。このような状況でのストレス、自己嫌悪やうつ状態に陥る職員が増えているかと思いますが、その対応について伺います。
市長▼身体的な部分は少し休んでいただければ疲れがとれると思いますが、メンタル面はなかなか難しいです。そういったこともあり、職員の精神的なケアに対応するため、メンタルヘルスケア講習会を2回実施しています。一番大事なのはトップリーダーがしっかりと向かうべき方向を職員に示していくことだと考えています。

決算審査特別委員会

8月10日の本会議で、監査委員の柄目孝治議員を除く議員18名で構成する「決算審査特別委員会」を設置しました。この特別委員会は、同月23日までの実質6日間にわたり平成22年度角田市一般会計・各種特別会計及び水道事業会計の審査を行いました。

第1日目は、正副委員長の互選を行い、その後現地調査を行いました。

第2日目は、一般会計決算の趣旨説明と質疑がありました。

第3日目は、各種特別会計

決算と水道事業会計決算の趣旨説明と質疑を行った後に、この特別委員会に総務財政分科会、教育厚生分科会及び産業建設分科会を設置しました。各分科会は、同月17日と18日に審査を行いました。

最終日は、各分科会長の報告を受け、日下七郎議員の反対討論と、佐藤正友議員の賛成討論の後、採決の結果いずれも賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。各種会計歳入歳出決算額は、表2のとおりです。

表2 平成22年度 各種会計決算一覧表 (単位：円)

会計区分	決算額		
	歳入	歳出	
一般会計	12,633,722,716	11,919,845,183	
特別会計	国民健康保険事業	3,370,649,439	3,263,466,526
	後期高齢者医療	258,716,730	254,507,030
	介護保険	2,472,855,214	2,471,966,643
	老人保健	7,037,628	7,037,628
	地方卸売市場事業	821,294	821,294
	公共下水道事業	1,287,859,023	1,285,805,523
	農業集落排水事業	100,400,279	100,367,509
	東根財産区	1,123,425	1,123,425
	小計	7,499,463,032	7,385,095,578
	合計	20,133,185,748	19,304,940,761

平成22年度 水道事業会計決算

●収益的収支	・収入の決算額	952,304,550 円
	・支出の決算額	917,071,436 円
●資本的収支	・収入の決算額	31,532,500 円
	・支出の決算額	212,796,825 円

平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会

8月24日、5回目となる「平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会」を開催しました。

はじめに、市当局からこれまでの被害状況報告や角田市震災復旧・復興基本計画等についての説明があり、それに対し、各議員より様々な質疑を行いました。今回の調査結果をふまえ、議会としましては次のとおり国に対し意見書を提出しました。

意見書の提出

- 国の関係機関へ
- ▶東日本大震災の迅速な被災者支援と復旧・復興を求める意見書

陳情の処理

- ▶角田字中沢地内及び裏林地内の震災被害の早急な復旧対策を求める陳情
- 角田市角田字松ノ内118
老ヶ崎行政区長 目黒哲夫

初めての一般会議

角田市議会では、テーマを設け、市内で活動する団体と意見交換を行う場として「一般会議」を設置しています。

7月下旬以降の、牛肉において放射性セシウムが制限基準値を大幅に超えたことによる肥育牛出荷停止を受けて8月4日、角田市役所において、みやぎ仙南農協角田肉牛部会ほか4つの酪農肥育牛団体と意見交換を行い、今後の対応を検討しました。

その内容を踏まえ、市議会としましては次のとおり活動しました。

要望書の提出

- 角田市へ
- ▶福島第一原子力発電所事故による畜産農家等に対する緊急支援要望書

意見書の提出

- 国の関係機関へ
- ▶福島第一原子力発電所事故による畜産農家等に対する緊急支援に関する意見書

決議の提出

- 東京電力(株)へ
- ▶福島第一原子力発電所事故に伴う農畜産物被害への対応を求める要望に関する決議

市政・議会に対するご質問

●議会基本条例を制定して変わったことは具体的にありますか。

回答 議会報告会などのように市民が参加する会議の制度化や本会議等での反問権の導入、議員間の自由討議を行うようになりました。

●女性農業委員の推薦について、今回が初めてですか。今後は、更に女性農業委員の参加が増えて欲しい。

回答 女性農業委員が必要と数年前から意見がありました。今回初めて、女性2名を推薦できました。本来、公選で選出されるのが理想ですが、なかなか立候補する方がいないので女性立候補者出現を促す意味からも女性を推薦しました。

●大震災の被害が44億円とあるが、今年中に全部復旧できるのか。

回答 激甚災害の場合、国の査定後に復旧工事が始まり、年度内に直すのが基本ですが、今回市民センター大ホールや市役所庁舎などの建物被害もある。持ち越しになる部分もあります。市民生活や通行に支障のあるマンホールの飛び出しなどについては、年度内に終了するよう、議会からも要望します。

●防災組織と災害弱者について、協働のまちづくりの中に「安全安心部会」、「教育福祉部会」等がある。何か起こった場合に、一人暮らしや弱者の対応が

必要になります。どこにどんな方が住んでいるのか把握するために、災害弱者のマップを作りたいが、個人情報等の問題で作れません。良い事例があれば教えて欲しい。

回答 例として、中島下で自主防災組織を作りました。自治センター単位だとあまりに大きすぎて結果的に機能しないので、区単位で作成しました。区の中で班長を通して個人情報壁があるので、いざという時に必ず声を掛けて下さい。という人を申請していただきました。その名簿は区長と民生委員しか持っていません。今回の震災で水を配った時は区長に名簿を借りて行いました。終わったらお返ししました。悪戦苦闘した事例です。防災組織を作る上で課題として持ち帰ります。

●震災を踏まえた選挙の在り方について、公費を使わないと総額3,500万円ぐらい浮くと聞いている。こういった大震災なので、議員全員でそうして欲しい。何故、議員全員で行わないのか。

回答 全員できればそうしたいところですが、個々の議員の考え方も違い、できません。議員有志で、選挙用自動車の使用・ハガキ代の公費負担を自粛したり、被災者の心情を考慮しての連呼をしない等、検討しているところ。14人で600万円ぐら

い復旧・復興にまわせるのではないかと思います。

●平成21年の定例会で、佐藤正友議員が、老朽化した地区集会所について一般質問をしていたが、その後、どうなったのでしょうか。高畑南の公民館も耐震に備えて700万円もかけて直した。将来的に市で補助金を出すのか追及・検討してほしい。

回答 現行の補助要綱では、新築、改築、購入のみを対象としておりますが、改修や修繕も補助対象にするとの声を受け、検討していましたが、なかなか実現していません。

今回の震災を機に新たに改修を検討している行政区もあると思いますので、早期に実現できるように前向きに検討します。

～市民に開かれた議会を目指して～

第5回 議会報告会

角田市議会では市民の皆様に日頃の議会活動を身近に感じていただくため、そして、より良い角田市をつくるために地域に出向き、開催しました。

議会報告会の概要

7月13日から15日までの3日間、市内9箇所12会場で開催しました。(表3参照)

はじめに角田市議会から、「震災による被害の状況」・「議員定数の削減」及び「震災を踏まえた選挙運動のあり方」等について報告を行いました。

その後、報告に対する質疑応答や地域の課題についての意見交換をしました。その内容について、いくつか紹介します。

表3 第5回 議会報告会開催状況

開催日時	会場	参加者数(人)		
		男性	女性	合計
7月13日(水) 午後4時から	藤尾自治センター	1	2	3
	角田自治センター	5	2	7
7月13日(水) 午後7時から	市民センター	3	1	4
	桜自治センター	2	1	3
7月14日(木) 午後4時から	東根自治センター	7	2	9
	北郷自治センター	1	4	5
7月14日(木) 午後7時から	西根自治センター	1	2	3
	小田自治センター	9	0	9
7月15日(金) 午後4時から	中島下区民会館	2	8	10
	新丁三区区民会館	1	3	4
7月15日(金) 午後7時から	横倉自治センター	1	8	9
	枝野自治センター	7	1	8
合計		14	9	23

市議会12月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 12月 1日(木) 招集告示
会派代表者会議
- 12月 5日(月) 議員協議会
議会運営委員会
- 12月 8日(木) 本会議
会派代表者会議
- 12月 9日(金) 議会運営委員会
- 12月13日(火) 常任委員会(請願審査)
- 12月14日(水) 本会議(質疑・自由討議)
- 12月15日(木) 常任委員会(議案審査)
- 12月19日(月) 議会運営委員会
- 12月20日(火) 本会議(討論・表決・一般質問)
会派代表者会議
- 12月21日(水) 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 12月22日(木) 本会議
議会運営委員会

※12月定例会への請願及び陳情等の提出期限は、
12月1日(木)までとなります。

※本会議の開会時刻は、午前10時です。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な
問題が審議されており、どのような方針で市政が進
められていくのか知ることができます。

お気軽に足を運んでみませんか。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希
望される場合は、議会事務局(☎63-2124)
にお問い合わせください。

傍聴者数
第357回(平成23年8月)定例会 31名
第358回(平成23年10月)臨時会 4名

議会 会 日 誌

7月

- 12日 仙南広域組合議会運営
委員会
- 13日 香川県三豊市行政視察
議会報告会(藤尾地区、
角田中央ブロック、角
田南ブロック、桜地区)
- 14日 会派代表者会議、
議会報告会(東根地区、
北郷地区、西根地区、小
田地区、角田町・東ブ
ロック、西北ブロック)
- 15日 議会報告会(横倉地区、

8月

- 1日 市議会だより162号
発行、
議員協議会、
議会運営委員会、
後期高齢者医療広域連
合議会全員協議会
- 4日 定例会本会議(第1日)、
会派代表者会議、
- 19日 枝野地区)
仙南地域広域行政事務
組合議会定例会
- 21日 会派代表者会議
- 28日 第357回定例会招集
告示、
会派代表者会議

- 5日 正副常任委員長会議、
一般会議
- 10日 議会運営委員会
- 11日 定例会本会議(第2日)、
決算審査特別委員会、
産業建設常任委員会協
議会
- 12日 決算審査特別委員会、
議員協議会
- 17日 後期高齢者医療広域連
合議会定例会
- 18日 決算審査特別委員会、
会派代表者会議

9月

- 19日 科会(産業建設)、
産業建設常任委員会、
総務財政常任委員会、
教育厚生常任委員会
- 22日 定例会本会議(第3日)、
議員協議会
- 23日 定例会本会議(第4日)、
決算審査特別委員会、
議会運営委員会
- 24日 定例会本会議(第5日)、
議会運営委員会
- 25日 定例会本会議(第6日)、
議会運営委員会、
議会だより編集会議
- 26日 仙南広域組合議会全員

10月

- 27日 協議会
- 29日 第358回臨時会招集
告示
- 4日 仙南広域組合議会臨時会
- 4日 第358回臨時会
- 13日 宮城県市議会議長会秋
季定期総会
- 14日 議会だより編集会議

編集後記

▼今回の改選により議会だ
より編集会議のメンバーも
新たになりました。より分
かりやすく、より親しまれ
る議会だよりにしていきた
いと思いますので、引き続
きご愛読ください。
ご意見・ご感想をお待ち
しています。

議会だより編集会議メンバー

- | | |
|-----|--------|
| 会長 | 馬場 道晴 |
| 副会長 | 今野林 一郎 |
| 委員 | 渡邊 誠 |
| 委員 | 八島 定雄 |
| 委員 | 湯村 勇 |
| 委員 | 谷津 睦夫 |